

たかおか 市議会 だより

No.32 9月定例会号
平成25年(2013年)11月1日発行

9月定例会のあらまし	2P
代表質問	5P
個別質問	7P
委員会の動き	12P



伏木神社遷宮200年記念パレード

写真提供：伏木写友会

編集■広報広聴委員会
発行■富山県高岡市議会
〒933-8601 高岡市広小路7-50
TEL 0766-20-1531
FAX 0766-20-1534
E-mail : gikai@city.takaoka.lg.jp



補正予算・条例・平成24年度決算など

30議案を可決・同意・認定

代表・個別質問に16人が登壇

9月定例会は2日に開会し、30日に閉会しました。

市長から平成25年度一般会計補正予算や高岡御車山会館新築工事の工事請負契約の締結、平成24年度決算など30議案が提出され、全議案を可決・同意・認定しました。

今定例会では、代表・個別質問に16人の議員が登壇し、白熱した議論を展開しました。

可決・同意・認定した 主な議案等

条例

子ども・子育て会議条例

子ども・子育て支援法に基づき、保育施設等の利用定員の設定や子ども・子育て支援事業計画の策定などについて審議するため、子ども・子育て会議を設置するもの。

老人福祉センター条例の一部改正

南部老人福祉センターを廃止するとともに、東部老人福祉センターの所在地番を変更するもの。

体育施設条例の一部改正

市営戸出プールを廃止するもの。

スポーツ健康センター条例

市民の生涯を通じた体力・健康づくりと幅広い年代の交流を図るため、戸出西部金屋地内にスポーツ健康センターを設置するもの。

その他

指定管理者の指定の期間の変更

南部老人福祉センターの廃止に伴い、現在の指定管理者の指定期間を短縮するもの。

工事請負契約の締結

①高岡御車山会館新築工事
契約金額 13億5135万円



安全な工事を祈って 高岡御車山会館安全祈願祭

②高岡御車山会館新築電気設備工事
契約金額 1億5750万円

③高岡御車山会館新築機械設備工事
契約金額 1億9892万円

④高岡御車山会館新築展示工事
契約金額 3億7590万円

いずれも御車山を周年展示し、祭礼日以外でも観覧可能な観光の拠点かつ歴史・文化の発信施設として高岡御車山会館を新設するもの。

⑤伏木地区コミュニティ施設（仮称）新築工事
契約金額 8億1900万円

初日提出議案

平成25年度 補正予算

◇一般会計……………賛成多数で可決

◇介護保険事業会計……………全会一致で可決

◇高岡市民病院事業会計……………全会一致で可決

条例

◇特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部改正……………全会一致で可決

◇市税賦課徴収条例等の一部改正……………全会一致で可決

◇子ども・子育て会議条例……………全会一致で可決

◇老人福祉センター条例の一部改正……………全会一致で可決

◇体育施設条例の一部改正……………全会一致で可決

◇スポーツ健康センター条例……………全会一致で可決

その他

◇指定管理者の指定の期間の変更（南部老人福祉センター）……………全会一致で可決

◇工事請負契約の締結（高岡御車山会館新築工事）……………全会一致で可決

◇工事請負契約の締結（高岡御車山会館新築電気設備工事）……………全会一致で可決

◇工事請負契約の締結（高岡御車山会館新築機械設備工事）……………全会一致で可決

◇工事請負契約の締結（高岡御車山会館新築展示工事）……………全会一致で可決

◇工事請負契約の締結（伏木地区コミュニティ施設（仮称）新築工事）……………全会一致で可決

◇工事請負契約の締結（戸出石代川原線橋梁上部工事）……………全会一致で可決

伏木福祉会館の老朽化に伴い、行政サービス、公民館、図書館機能等を有する地域コミュニティ施設を新たに建設するもの。

⑥戸出石代川原線橋梁上部工事

契約金額 2億2470万円

戸出大清水・戸出石代地内において道路の連続性を確保するため、堤防道路の霞堤部に橋梁を架けるもの。

⑦戸出西部市営住宅建替工事（A棟）

契約金額 5億9850万円

既設の簡易耐火平屋建て住宅を建替え、鉄筋コンクリート造4階建てとするもの。

■財産の取得

①除雪トラック

取得価格 2750万円

②除雪ドーザ

取得価格 1554万円

③ロータリー除雪車

取得価格 3087万円

いずれも積雪時における道路交通確保のため、除雪トラック等を取得及び更新するもの。

人事

※全て再任

■副市長

林 時彦氏（大坪町）

■人権擁護委員

吉川 佳子氏（川原本町）

討論要旨

（平成24年度決算）

○日本共産党《一般会計、国民健康保険・下水道・農業集落排水・介護保険・後期高齢者医療事業の各会計

………反対》

一般会計では、高岡駅周辺整備事業等の大型事業について、事業費の削減努力を求め、景気対策などに財源を振り分けるよう求める。また、中小企業への抜本的支援策の強化などを実施すべきである。

国民健康保険・下水道・農業集落排水・介護保険事業会計では財政努力により市民の負担の軽減を行い、後期高齢者医療事業会計では、国に対し、後期高齢者医療制度の即時廃止を求めるべきである。

○自民党議員会

《全会計：賛成》

本市が持つ都市の強みとまちな魅力を活かし、交流拠点都市の創造に取り組むとともに、新幹線開業を見据えた都市基盤整備が具体的に姿を見せ始めた決算となっていることを評価する。しかし、本市の財政を取り巻く環境は厳しく、行財政全般の見直しを徹底し、厳正な施策の選択と限られた財源の重点的、かつ、

効率的な配分に留意しながら、市民の要望を施策に反映した行財政運営に努められるよう要望する。

○自民クラブ

《全会計：賛成》

新幹線開業に向けた都市基盤の強化に努めるとともに、まちな魅力を際立たせる施策や市民生活の安全・安心のための施策に取り組んだことを評価する。しかし、財政状況が厳しい中、住民ニーズを施策に反映するため、常に優先度・緊急度・事業効果などを精査した事業の選択と、限られた財源の重点的・効率的・効果的な配分に留意し、安全で安心して生活できる地域基盤の確立を要望する。

○社民党議員団

《全会計：賛成》

市税収入全体では減収となったものの、一般会計における実質収支と、特別会計8会計の決算総額において実質収支が黒字となったことを評価したい。また、高岡新世紀創造プロジェクトに掲げる五つのテーマでの施策・事業の充実を戦略的に取り組んだことに一定の評価をしたい。引き続き、市民生活最優先の市政運営に努め、戦略的に人口対策の強化に努められるよう強く要望する。



◇工事請負契約の締結（戸出西部市営住宅建替工事（A棟））

………全会一致で可決

◇工事請負契約の締結（伏木浄化センター汚泥脱水機改築工事）

………全会一致で可決

◇財産の取得（除雪トラック）

………全会一致で可決

◇財産の取得（除雪ドーザ）

………全会一致で可決

◇財産の取得（ロータリー除雪車）

………全会一致で可決

◇財産の取得（公営バス車両）

………全会一致で可決

◇訴訟上の和解

………全会一致で可決

◇字の区域の変更

………全会一致で可決

◇富山県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更

………全会一致で可決

◇平成24年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分

………全会一致で可決

認定《平成24年度決算》

◇企業会計

（高岡市民病院事業会計）………全会一致で認定

（水道事業会計）………全会一致で認定

（工業用水道事業会計）………全会一致で認定

（簡易水道事業会計）………全会一致で認定

◇一般会計・特別会計

（一般会計）………賛成多数で認定

（国民健康保険事業会計）………賛成多数で認定

（下水道事業会計）………賛成多数で認定

（荻布奨学金事業会計）………全会一致で認定

（駐車場事業会計）………全会一致で認定

（工業団地造成事業会計）………全会一致で認定

（農業集落排水事業会計）………賛成多数で認定

（介護保険事業会計）………賛成多数で認定
（後期高齢者医療事業会計）………賛成多数で認定

6月定例会後～9月定例会前

- 6月18日 広報広聴委員会
20日 港湾対策特別委員会
21日 歴史文化・広域観光対策特別委員会
7月 2日 広報広聴委員会
12日 民生病院常任委員会
22日～23日 総務文教常任委員会行政視察
22日～24日 建設水道常任委員会行政視察
23日 経済消防常任委員会
24日～26日 経済消防常任委員会行政視察
26日 建設水道常任委員会
総務文教常任委員会
29日～30日 新幹線・公共交通対策委員会行政視察
8月 5日～6日 歴史文化・広域観光対策特別委員会行政視察
12日 議員協議会
20日～21日 港湾対策特別委員会行政視察
23日 議会運営委員会
代表者会議
27日 正副常任委員長会議
新幹線・公共交通対策特別委員会及び現地視察

9月定例会

- 9月 2日 議員協議会
本会議（提案理由説明）
議案説明会
4日 本会議（代表質問）
6日 本会議（個別質問）
9日 本会議（個別質問）
水道病院決算特別委員会
決算特別委員会
議会運営委員会
11日 代表者会議
民生病院常任委員会
経済消防常任委員会
12日 議会運営委員会
建設水道常任委員会
総務文教常任委員会
17日 委員長会議
議会運営委員会
議員協議会
本会議（議案など議決）
広報広聴委員会
18日 水道病院決算特別委員会
決算特別委員会
19日 決算特別委員会
水道病院決算特別委員会
20日 決算特別委員会
水道病院決算特別委員会
27日 水道病院決算特別委員会
決算特別委員会
30日 委員長会議
議会運営委員会
議員協議会
代表者会議
本会議（決算の認定など議決）

○政峰会

《全会計：賛成》

景気低迷の影響や地価の下落傾向等による厳しい財政状況の中で、行政の果たすべき役割や全ての施策事業の効果・効率性を検証し、限られた財源を有効的・重点的に配分し、子育て世代の支援や中心市街地のにぎわいづくりに取り組んだことを評価する。今後も、新幹線開業と、高岡の未来を見据え、まちの強みを磨き、魅力を高め、元氣なふるさと高岡の実現に取り組まれるよう要望する。

○公明党

《全会計：賛成》

本市を取り巻く財政状況は厳しいが、新幹線開業効果を最大限に活かすための社会資本整備を進め、自然災害に対する安全・安心の確保や、多様化する市民ニーズに対応してきたことを評価する。今後も、市政運営には、より一層緊張感を持って、自主財源確保の強化と、施策・事業の厳正な選択により、市民生活の向上に取り組まれるとともに、持続可能な行財政運営の推進を要望する。

○民主クラブ

《全会計：賛成》

高岡新世紀におけるまちづくりの道筋を示す最初の計画である総合計画第2次基本計画が始動した年であった。厳しい市政運営が続く中、新幹線開業を見据えた新高岡駅周辺の整備や観光の推進のための幹線道路の整備、公共施設や学校施設の耐震化などに積極的に取り組んだことを評価する。新幹線開業を好機と捉え、市民と行政が一体となつたまちづくりと、さらなる行財政改革の推進を要望する。

追加提出議案

人 事

◇副市長の選任……………全会一致で同意
◇人権擁護委員の推薦……………全会一致で同意

請 願

◇消費税増税中止を求める意見書提出を求める請願（消費税廃止富山県各界連絡会事務局長 能沢吉晴）……………賛成少数で不採択

◇TPP交渉からの撤退を要求する意見書提出を求める請願（農民運動富山県連合会代表 大橋国昭）……………賛成少数で不採択

代表質問

今定例会では、2会派の代表が市政全般にわたり質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



自民党議員会
狩野 安郎

統合後の看護専門学校

問 市内3看護専門学校の統合校の設置場所については、看護師人材の安定的な確保といった観点からも重要な要素と考えるが、現段階での検討状況は。

市長 市内3看護専門学校の統合に向けた検討委員会の報告書を踏まえ、高岡駅周辺の駅北及び駅南地区を対象として検討することとした。その上で、広域的に通学する学生の利便性確保の観点から、駅から徒歩圏内であること、関係法令に基づく規制の観点から、想定する規模の建物が建築可能となる土地を確保でき、かつ用地確保が比較的容易であること、早期に事業化が可能であり、地区全体への波及効果を生み出していけること等の観点から検討を行った。その結果、設置場所としては、



看護師人材の安定的確保のために 看護専門学校戴帽式

高岡駅前東地区が適切であり、その中でも駅直近が望ましいと考えている。今後設置に向け関係者と協議・調整を進めたい。

公共交通の将来像

問 高岡の目指す公共共通の将来像について問う。

(1)新幹線駅が分離駅となる本市では、現高岡駅と新高岡駅の二つの交通拠点をいかに一体的に機能させるかが大変重要であるが、両駅の連携につ

いて、総合交通戦略においてはどのような検討をしているのか。

(2)万葉線の延伸は、現高岡駅と新高岡駅とのアクセス、現高岡駅と山町筋や金屋町の歴史街区、近隣の高校を結ぶ手段として、生活交通軸の強化、乗り継ぎ利便性の向上といった観点から、重要なテーマになると考えるが、総合交通戦略においてどのように位置付けられるのか。

市長 (1)新幹線開業までの短期的事業プログラムとしては、城端線新駅の設置とともに、城端線の増便、現高岡・新高岡駅間をストレスなく、高頻度にアクセスできるバス路線の再編、シャトルバスや利便性の高いタクシーの運行をはじめ、バス優先信号及び優先レーンの設置などについても、総合交通戦略に位置付けていきたいと考えている。また、中長期的事業プログラムとしては、城端線と氷見線の直通化や万葉線の駅南方面への延伸などについても、総合交通戦略策定協議会の中で議論し、その実現の方策を探って

いきたい。
(2)都心を貫く交通軸は、市中心部の活力とにぎわいをもたらす原動力となるものであり、市民の日常生活の大切な交通手段のみならず、ビジネスや歴史・文化・観光拠点へのアクセスなどの面からも、大変重要な役割を担うものである。万葉線の延伸は、この重要な交通軸に沿ってその一層の強化につながるものと考えている。総合交通戦略においては、技術的課題や概算費用の算出など、事業可能性に踏み込んだ詳細な検討を行うとともに、費用対効果の分析も考慮しながら、実現に向けた協議を進めていきたい。

高岡御車山会館の駐車場

問 高岡御車山会館の駐車場については、山町筋や金屋町一帯を散策する観光客なども見据えた整備が必要と考えるが、来館者のための駐車場用地はどのように確保し、具体的に何台分を整備する予定なのか。

産業振興部長 高岡御車山会館の来館者を迎えるためには、駐車場の確保は必要と考えている。すでに木舟町・小馬出町地内に整備済みの山町筋観光駐車場に加えて、高岡御車

山会館から約200メートル離れた片原横町地内に、乗用車15台程度の駐車場用地を確保したところである。しかしながら、観光バスの駐車場も含めてさらなる整備が必要であると考えている。同じ重要伝統的建造物群保存地区の金屋町を含めたエリアの中で、休憩所も兼ねた観光駐車場の適地を調査選定し、今後、整備に向けて具体的に進めていくことにしている。

高岡型子育て支援システム

問 未来高岡の創造に向け、磨き、つなぎ、創るという三つのキーワードの下で、人づくりの分野では、一人ひとりが輝く子育て支援システムの推進に向けた施策の展開打ち出しているが、本市の目指す高岡型子育て支援システムの基本的な考え方は。

市長 若い世代の心理的・経済的な負担を軽減し、希望や喜びを実感しながら、子どもを生み育てやすい仕組みづくりが必要であると考えている。考え方の柱として、乳幼児期から学童期までの教育・保育を超えた一貫した子育てサービス提供体制の確立、まちなかに設置した子育て支援センターの機能充実、新生児訪問

や発達支援などの安心子育てプロジェクトの推進、放課後児童クラブなど地域で子どもを見守る支援体制の充実などを基本に据え、切れ目のない良質な子育て環境を整える総合的なシステムの構築を目指したい。



自民クラブ

大井 正樹

都心エリアの基盤整備

問 新高岡駅の利用促進と高岡駅周辺整備について問う。

(1)能登有料道路が無料通行となり、能登地方の住民は金沢との結び付きが一層強くなると思うが、能登地方からの誘客を図るため、能越自動車道の利用者の負担感を払拭するための駐車場料金の軽減策など新高岡駅の利用促進への具体的な取り組みは。

(2)駅隣接地という優れた立地条件である高岡駅前東地区に、市役所などの公的機関を移転すれば相乗効果が生まれると考えるが、利便性の高い当該地区の整備の取り組みの考え方は。

(3)城端線新駅整備については、金沢開業時に来訪者を引

き留めるため、沿線地域と協力し、1面2線から1面1線に変更となったことで生じた駅前空間を有効活用すべきと考えるが、その活用策は。

都市整備部長 (1)能登地域の

人々には、自家用車を利用するほうが、運賃・料金面で安価となることや所要時間の短縮が図られることなどから、新高岡駅を利用してもらえる可能性が高いものと認識している。本市では、戦略的に、新高岡駅に約800台の駐車台数を確保するため、現在、立体と平面の各駐車場の設計を進めている。料金設定については、整備費用等を総合的に勘案し、早急に決定していきたい。さらに、能登方面を訪れる団体客を想定し、南側駅前広場等へのバスブスの整備をはじめ、高架下利便施設に大規模なトイレや乗務員向け休憩スペースの整備等を予定している。

市長 (2)高岡駅前東地区の将来ビジョンは、本市を訪れる人々が出会い・学び・活動できる場、また、市民が安心して快適に生活できる場などのイメージを持って検討したい。

また、検討を進めている統合後の看護専門学校を高岡駅前東地区の駅直近に先行的に設置することにより、若者が駅

周辺に集まるなど当地区全体への波及効果を生み出し、高岡駅周辺の拠点性の向上につなげたい。また、高岡駅前東地区整備基本構想の策定は、平成25年中を目標に、中間報告の提示を考えており、関係地権者等から意見を聞き、将来ビジョンを固めていきたい。

都市整備部長 (3)城端線新駅

は、24年12月にJR西日本との協定により、当面、1面1線で整備することになった。しかし、今後の需要動向や社会情勢の変化等に対応し、1面2線による整備に着手できるように、引き続き、鉄道用地を確保していく必要がある。そのため、1面2線に整備するまでの期間は、暫定的に活用することが適切と考えてい



都心エリアとしての整備が進む高岡駅周辺

る。現在、隣接する駅前広場との一体的な整備や1面1線となった城端線新駅への円滑な移動経路の確保などに活用し、金沢開業時における新高岡駅の利便性向上のための整備を進めている。

高岡の魅力向上

問 港湾機能の強化と新幹線開業を見据えた観光戦略について問う。

(1)伏木富山港の活用策の推進に向けたポートセールスの成果と外航クルーズ船の受け入れ体制の充実強化への考えは。

(2)新幹線開業により都市間競争が激化する中、本市の強力なライバルとなる平成27年度末の北海道新幹線開業を見据え、首都圏に対し、高岡の売り込みが必要と考えるが、高岡の魅力が競合都市との間で埋没することのないよう、高岡の強みを活かすための観光戦略をどのように進めていくのか。

市長 (1)上海の大手クルーズ船会社へトップセールスを行ったところ、日本向け観光に期待を寄せており、寄港地選定に大変良い印象付けができたと考えている。本市としては、外航クルーズ船の誘致に

は、受け入れ態勢の充実強化が不可欠であり、個々の観光地の魅力を磨きあげ、クルーズ観光の特徴である一日観光の掘り起しを進めていきたい。今回の上海訪問で得られた情報を活かし、乗船客が伏木富山港へ来て良かったと言ってもらえる環境づくりに努め、クルーズ船寄港増大による港の利活用を促進していきたい。(2)持続的に新幹線効果を活かすためには、歴史と文化、ものづくりという高岡ならではの魅力を前面に打ち出し、他都市との差別化を図り、選ばれる観光地となることが重要不可欠である。高岡は、全国有数の歴史と文化のまちであることが、他都市にはない大きな強みであると考えている。そのため、町並みの修理・修景、御車山会館などの基盤づくりや、体験・滞在メニューの充実、高岡ならではの食や土産物の提供など、おもてなしの環境づくりに努め、五感で感じ、歩いて楽しめるまちの実現を図っていきたい。こうした高岡の強みを継続的、効果的に発信し続けていくことが重要である。高岡といえど、これ、と認知してもらえないよう、コンセプトを明確にしたイメージ戦略を展開していきたい。

個別質問

今定例会では、14人が市政全般にわたり質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



中山 欣一
民主クラブ

持続可能な行政運営

問 新幹線開業後の市債残高の削減への取り組みと、市民サービスの充実の双方を両立するための考え方は。

経営企画部長 新幹線開業に向けた社会資本整備や学校施設等の耐震化等により、当分は市債残高は増加傾向である。しかし、開業後には、事業の優先度、緊急度等を勘案し、事業の選択と集中の徹底を図りたい。また、国・県補助金の確保に引き続き取り組み、市債発行の縮減を図り、捻出された財源により、市民サービスの充実に努めたい。

被災時の受援力と計画

問 本市において、大災害が発生した場合、ボランティアや企業、他の自治体など外からの支援を円滑に受け入れるために、受援力と受援計画が重要になると思うが、見解は。

総務部長 東日本大震災のような広域災害においては、他自治体等からの支援は必要不可欠であるため、受援体制を定めておくことは重要である。すでに策定済みの先進自治体を参考にするとともに、災害時相互応援協定を締結している都市とも相談しながら、受援計画の策定に取り組みたい。

真の意味での一体感の醸成

問 福岡地域の将来ビジョン



新市の一体感の醸成を

市長 今回の見直しは、持続可能な社会保障制度の確立と世代間の公平性の観点から方針が示されたものである。このことは、国の社会保障審議会で、詳細な内容の審議が始められており、本市としては、その動向を見守りたい。

消費税増税の中止

問 国民生活と経済へ深刻な打撃を与える消費税増税を中止し、国民の所得を増やす景気対策に転換して、消費税増税に頼らない財政再建の道に踏み出すよう国に要請してはと考えるが、見解は。

市長 社会保障・税一体改革法にある景気条項の趣旨を踏まえ、消費税税率引上げに係る経済状況を総合的に勘案し、政府において適切に判断がなされるものと考えている。

浸水対策の抜本的強化

問 豪雨被害を踏まえて、住吉ポンプ場の機能強化と道路側溝改修の前倒し実施をすべきでは。また、地久子川改修の前倒し実施を県に要請すべきでは。

林副市長 住吉ポンプ場の機能強化については可能な限り工程の短縮を図り、平成27年度末の完成を目指し事業を進めている。地久子川は、県に

おいて当初計画を繰り上げ、予算要求も行われたと聞いている。道路側溝の改修については、引き続き積極的な前倒し実施に努めていきたい。



石須 大雄
社民党議員団

安定した看護体制の確立

問 看護師確保対策について問う。

(1) 看護師不足の解消のためには、看護学校などで看護師を養成することが重要であると考えるが、市内3看護専門学校を統合しようとする経緯は。
(2) 統合を検討している3看護専門学校は授業料も教育実習の場所もそれぞれ異なるが、運営の考え方は。
(3) 近隣の公立病院では、育児休業職員を定数外としている場合もあるが、市民病院も看護師確保対策として、育児休業職員を定数外職員としては。

福祉保健部長 (1) 施設の老朽化などの各学校の運営上の課題解決の議論の中で、統合の機運が高まり、本市としても、看護師の養成は重要であると考え、看護専門学校の統合に向けた検討委員会を設置した。統合校は、県西部地域の看護

人材の育成や確保に重要な役割を果たすことから、県に積極的な関与を要望しており、今後、設置に向けた課題等を関係者等と協議・調整したい。

(2)統合校では、県西部地域全体から学生を確保し、医療の高度化やニーズの多様化等に対応できる看護師の養成を目指すこととしている。設置・運営には、長年にわたり看護師養成の実績を持つ県に関与を求めている。立地場所は、

学生の通学の利便性や、3校の実習病院からも近い高岡駅前東地区の駅直近で整備することが望ましいと考えている。

病院事務局長 (3)任期を限定した採用制度の下での代替看護師確保の実効性や、育児休業職員が予定より早期に復職した場合などの定数管理上の検討などを行っていききたい。

また、代替看護師確保の手段として、他の自治体の運用状況なども調査・研究していきたい。



上田 武
社民党議員団

市政運営に対する決意

問 高橋市政2期目の運営に当たり、市民の要望や期待に

応えるバランスのとれた運営を目指すべきと考えるが、今後4年間の課題と決意は。

市長 新幹線開業は、本市の活性化にとって大きなチャンスとなると同時に、厳しい都市間競争に直面することとなる。ポスト新幹線のまちづくりににおいて、全ての市民が安全に安心して暮らし、活力にあふれる元氣なふるさと高岡の創造にまい進したい。

浸水対策の推進

問 平成25年8月の集中豪雨による被害箇所は24年度に被害を受けた箇所と同じなのか。また、同じ箇所であるならば、対策を前倒しして実施すべきでは。

林副市長 25年8月の豪雨による浸水被害地区は24年度に被害を受けた地区も含まれることから、被害のあった地区の対策を優先的に実施していきたい。河川改修事業の促進を県に要望するとともに、引き続き国の交付金を活用しながら、道路側溝の改修、雨水幹線の整備などの浸水対策に努めていきたい。

こども医療費助成の拡大

問 子どもを生み育てるなら高岡だと言われるためにも、通院無料の対象を小学6年生

までから中学3年生までに拡大しては。また、拡大した場合の必要額は。

福祉保健部長 こども医療費助成制度の拡大については、制度の持続可能性も考慮したうえで、これまでの事業効果の検証等も行いながら、検討していきたい。また、通院助成対象を拡大した場合の必要額は、現状での実績額に加えて約6000万円の増額になると試算している。



川島 国
自民党議員会

福岡担当副市長の存在

問 福岡庁舎のあり方など合併協定事項の課題に対応するため、福岡担当副市長の存在が重要と考えるが、見解は。

市長 合併後8年が経過し、福岡地域の状況が他の地域と同様に認識されるようになってきたこと、担当副市長のもと福祉等の制度もほぼ一元化され、所期の成果を挙げていること、また、効率的な行政運営を図る観点から、当面は副市長一人体制とするものである。今後も、福岡地域に関する業務体制を構築し、施策の円滑な進行に意を用いたい。

福岡地域の行政機能強化

問 福岡担当副市長を再任しない場合には、福岡総合行政センター所長の権限強化も含め、当面の福岡庁舎を統括していく責任者をどのように考えているか。

総務部長 現在、福岡総合行政センター所長が、その所管事務を掌理し、所属職員を指揮監督する固有の権限を持つて、適正な事務執行や行政サービス提供に取り組んでいる。福岡地域における今後の事業が支障なく円滑に進むよう、所長の役割を含めて、体制を強化していきたい。

一体感醸成のための検証

問 合併の一体感醸成が達成されると考える新市誕生10年に向けて、合併の検証は必要と考える。今後、道州制や広域連携の必要性が高まる中、求心力を持つ高岡市として発展するためにも、検証が極めて重要と考えるが、見解は。

総務部長 合併の検証作業は重要なことであると認識しており、すでに準備に入っている。結果については、市民に示していくとともに、次期の総合計画などにより、今後の市政運営に反映させていきたい。

集中豪雨の浸水対策



永森 茂
自民党議員会

問 浸水被害にあった世帯では、自費でかさ上げや排水ポンプを整備しているところがある。浸水対策を行った世帯に対し、当該工事費用の助成を行うべきと考えるが、見解は。

都市整備部長 排水ポンプについては、平成24年度に貸出制度を創設するほか、25年度には雨水貯留槽設置補助制度を設けたところである。個人でのかさ上げや排水ポンプ設置の助成については、他の自治体の状況と効果について調査・検討していきたい。



浸水対策に助成を（平成24年7月豪雨時の状況）

特別警報を想定した対策

問 特別警報が発令された場合に市民一人ひとりが、自分の命を守る適切な行動をとることができるよう、さらなる防災教育、防災訓練が必要と考えるが、見解は。

市長 特別警報が発令された場合は、直ちに身を守るために最善を尽くしてもらいたい。平成25年8月に実施した県総合防災訓練では、大津波の発生を想定し、津波避難ビルを活用した避難訓練を行った。今後は大雨やその他の特別警報を想定した訓練を順次実施するとともに、特別警報の普及・啓発に努めたい。

学力低下問題

問 平成25年4月に実施された全国学力テストで富山県は6教科で順位を落とす結果となったが、見解は。

教育長 県教育委員会では、今回の結果については、全国的に学力の底上げが図られた結果と分析しつつも、あらためて授業方法の工夫等に取り組まなければならないとしている。学力向上に向け、どこにつまずきがあるのか現状を分析した上で綿密な対応策を立て、継続的に粘り強く取り組む必要があると考えている。



島村 進
社民党議員団

合併の総括

問 人口も歴史も違う旧高岡市と旧福岡町の合併という歴史的大事業は成功であったと評価できるのか、総括を。

市長 旧高岡市と旧福岡町の豊かな歴史文化資産を共有することになったことに加え、交流の拡大による文化的な一体感が、まちの新たな魅力となっている。懸案であった事業にも一定のめどが着いたと考えている。合併による特例制度を活用した大型事業も進展しており、所期の成果は現れつつあると考えている。

合併の重要協議事項

問 福岡担当副市長を再任しないことは、副市長二人のうち一人を福岡庁舎に配置するという合併協定書の重要項目をほごにするとも受け取れるが、その真意は。

市長 合併から8年が経過し、福岡地域の状況が他の地域と同様に認識されるようになってきており、簡素で効率的な行財政運営を図っていく観点から、副市長を再任しないこ

ととした。副市長二人体制については、協定書に基づき合併時の必要性に応じて2期にわたって配置してきたことから、協定書は遵守したものと考えている。

能越自動車道の利便性向上

問 小矢部市にアウトレットモールが建設されることから、国道8号の渋滞緩和のため、能越自動車道の高岡ICと福岡IC間を無料化し、バイパス機能の強化を図るべきでは。

建設部長 能越自動車道は、物流効率化や地域活性化の役割だけでなく、災害時の避難・支援助路として重要な役割を持つことから、機能の充実を図るためには、国による管理や維持整備の一元化が望ましいと考えている。



吉田健太郎
公明党

今後の豪雨災害に備えて

問 河川の底に土砂が堆積している箇所もあるが、大雨の際に排水路として十分に機能しないと考える。総点検を実施し、堆積物を除去しては。

建設部長 平成25年8月の豪雨を受け、市内の河川のパト



豪雨災害に備えて 川倉組立訓練

ロールを行ったところ、流出能力の支障となる堆積状況ではなかった。引き続き、定期的にパトロールを実施し、必要に応じて浚渫を行うとともに、地元の協力を得ながら河川の維持管理に努めたい。

美しいまちを目指して

問 雑草繁茂地の所有者に対し、市民の手による美しいまちづくり推進条例に基づく、指導、勧告、命令を行うに当たっての考え方は。また、命令代行措置も検討しては。

生活環境部長 本市では、市民の手による美しいまちづくり推進条例で、市民自らの手による美しいまちづくりを基本としていることから、空き地の管理についても所有者自らが適正に管理することを基本としつつ、市民の参加と協

働により取り組んでいくことが重要と考えている。

文化創造都市高岡

問 高岡の将来を先取りする施策としての文化創造都市推進パイロット事業とは何か。また、その概要と目指すものは。

経営企画部長 文化創造都市高岡の構築に向けた先導的な事業を実施するものである。具体的には富山大学芸術文化学部と連携したプロモーションチームを組織し、空き家を活用したアート事業など、高岡の文化創造につながる取り組みを提案・実施していきたい。また、講演会等を開催し、市民へ文化創造都市高岡の周知を図りたい。



曾田 康司
政峰会

新幹線開業を見据えて

問 新幹線開業に向けて問う。(1)観光や交流人口の拡大にとって食は密接な関係にあることから、新幹線開業を見据え、積極的に食を活用して交流人口の拡大を図っては。(2)新高岡駅周辺整備については、400年の歴史を持つ高

岡らしい整備が求められているが、どのように表現し、地場産業の振興につなげるのか。(3)新高岡駅直近の京田踏切が2車線の狭隘な状態で新幹線開業を迎えれば、渋滞の原因となると考えるが、見解は。

市長 (1)高岡食のブランド推進実行委員会では、高岡昆布飯に加え、高岡昆布スイーツを提供しており、旅館やホテルでは、昆布を活用した朝食を計画している。また、平成25年10月に開催の高岡クラフト市場街では、鋳物や漆器の食器を使って高岡ならではの演出で食を提供し、食のブランド力を強化したい。さらに、ご当地B級グルメを推進する団体と連携し、食文化の充実を図り、情報発信に努め、食をテーマとした観光誘客と交流人口の拡大に努めたい。

都市整備部長 (2)高岡らしさの表現としては、駅舎の風合いを活かしながら、アルミや鋳物を中心としたデザインを採用している。また、設計・施工において、アルミ製品等を活用し、鋳物モニュメントの設置など伝統工芸も空間アクセントに活用することで、地場産業の振興につなげたい。**建設部長** (3)京田踏切は、下伏間江福田線と城端線が交差する位置にあり、1日も早い



スムーズな交通の確保を 京田踏切

4車線化の完了を第一の目標に整備を進めている。新幹線開業時は現在のままの運用となるが、J・Rや地元関係者と協議しながら、立体交差の実現に努力したい。



樋詰 和子
公明党

子育て環境の充実

問 少子化対策と子ども子育て支援について問う。

(1)子どもの医療費助成については、県内市町村の多くが入院・通院とともに中学3年生まで無料としているが、本市も検討しては。また、所得制限の限度額の妥当性についても検討しては。

(2)まちなかキッズステーション整備事業における子育て支援センターの託児利用料の設定については、ファミリー・サポート・センターの利用料と同額にすべきでは。

福祉保健部長 (1)こども医療費助成制度はこれまでも充実を図ってきた。助成対象の拡大については、総合的な子育て支援策の考え方や、これまでの助成実績、他市の取り組みなどを踏まえ、限られた財源の中で持続可能な制度となるよう検討したい。また、所得制限の限度額の設定については、経済状況の動向や、他市の状況を見ながら適正な基準となるよう検討したい。(2)託児機能の整備により、まちなかでの買い物などの利用につなげたいと考えている。また、利用料についてはファミリー・サポート・センターの利用料や、他市の事例も参考としながら検討したい。

空き家の活用

問 町並みの維持やにぎわい創出のため、空き家の借り手を探して作家の活動拠点や工房として利用してもらうような地域の取り組みに対して支援を行うべきでは。

建設部長 本市では、空き家の有効利用を通じた定住促進

と地域活性化を図るための研究をしている。また、産業・観光・福祉等の分野で様々な支援制度があることから、関係部局と連携を図り、意欲ある市民活動に支援を行いたい。



金森 一郎
政 峰 会

旧町名復活への支援

問 旧町名の復活は、歴史都市たかおかの新幹線開業後の観光による交流人口の拡大に弾みをつけることから、旧町名の復活に係る費用を助成すべきだと考えるが、対応策は。

生活環境部長 旧町名の復活に係る費用への支援については、先行都市である金沢市の例を参考に、今後、十分に検討することとしている。

高岡ならではの記念事業

問 藤子・F・不二雄氏の生誕80周年を記念した事業は、藤子氏の生誕地高岡だからこそできる事業であることが大変重要だと思うが、概要は。

経営企画部長 実行委員会を組織し、藤子・F・不二雄氏に関連した企画展の開催、高岡の伝統産業である銅器によるドラえもんポストの製作や、

ドラえもんポストに投函された郵便物に限定して押印する生誕80周年記念消印の製作等を予定している。本市としては、ドラえもんトラムとの相乗効果によるさらなる盛り上がりを目指すし、高岡だからこそできる取り組みとなるよう支援していきたい。

信頼される職員として

問 不祥事防止のための意識改革を図るには、市民のためにと声高に唱えるだけでなく、前例主義の見直しや当事者意識を持つことが必要だと考えるが、見解は。

総務部長 前例に固執せず個別の状況に対応することや相手の立場で物事を考えることは、市民のための行政を行ううえで重要だと考えている。その点を踏まえ、市民目線に立った仕事の進め方をテーマとして職場討論を実施し、各職場で定められたスローガンを実践していくことで、一層の意識改革につなげたい。



水口 清志
政 峰 会

今後の農業政策

問 農村振興は食料自給率の



農業の安定経営を目指して

いての考え方は。
高田副市長 後継者育成のための体験教室等の実施や、スゲの生産確保に向けた取り組みが始まっている。また、菅笠製作技術保全に向けた対応として、専門家や菅笠関係者から意見を聞き、課題を整理していきたいと考えている。今後もスゲ生産者や地元との連携を強化しながら、福岡の菅笠を大切に守り育てていきたい。

一体感醸成への道のり

問 合併の一体感が醸成しつつある中、福岡担当副市長を再任しないこととした判断は、福岡地域の住民に対してもう少し配慮があっても良かったと考えるが、見解は。

市長 熟慮のうえ判断したものであり、今後、関係者に福岡地域の事業の進捗に向けた体制などを説明し、理解を得られるよう努力し、新市建設計画に掲げた事業が円滑に進むよう十分意を用いたい。

菅笠技術の保全

問 国の重要無形民俗文化財に指定された菅笠製作技術の保全が憂慮されている。スゲ生産組合の設立など新しい取り組みも出てきているが、今後の菅笠製作技術の保全につ



四十九清治
民主クラブ

グラウンド・ゴルフ場

問 豊かなスポーツライフの

実現のため、岩坪地内に整備されるグラウンド・ゴルフ場の造成工事について問う。

(1)施設の規模やグラウンドの仕様などの整備概要は。
(2)用地買収や道路整備等には困難が伴うこともあると思うが、事業の進捗状況と完成の見通しは。

教育長 (1)4コース、各8ホールの計32ホールによる全面芝張りコースを整備することとしている。また、管理棟、トイレ、約75台駐車可能な駐車場などを整備する予定である。完成後は、公式競技コースの認定を受け、市外・県外から参加者を招いてスポーツによる交流の拡大に努めたい。

(2)平成24年度に基本・実施設計を終え、25年度に整備に必要な土地の取得を完了した。今後は、造成工事に着手する予定であり、競技団体や地元から意見を聞きながら、コース設定や工事内容の調整を行い、関係者の理解や協力を得ながら整備を進めたい。

一体的な上下水道行政

問 上下水道事業の統合は、事業の一体的な運営や、さらなる水循環システムの構築を目指して実施されるべきと考えるが、統合に当たっての目的や組織編制の基本方針と経

営理念についての考えは。
水道事業管理者 統合により、上下水道の効率的な事業運営と組織の合理化を目指しているが、そのことが市民サービスの向上につながらなければならぬと考えている。統合に当たっては、市民や事業者に分かりやすい組織づくりを行うとともに、統合を組織力・技術力の強化につなげ、安全で安心できる水道・下水道を将来にわたって健全に経営することを基本とした。



青木 紘
自民党議員会

行財政改革の推進

問 行財政改革について問う。
(1)とやま・ふくおか家族旅行村について、経営改善に向けた取り組みによる平成24年度の達成状況及び達成見込みは。
(2)新幹線開業に伴う大型事業終了後、費用対効果の面から、積極的に事務事業の検証をすべきであると考えているが、見解は。

福岡総合行政センター所長 (1)24年度には、利用者のアンケート結果などを参考に、施設改善やリピーター獲得のためのポイントカードの導入などの取

り組みを行った。これら取り組みにより、利用者は目標値を上回る結果となった。利用者数は増加傾向であり、利用者数の増加が事業収入に結び付かない理由の分析を行い、収益増に結び付けたい。

経営企画部長 (2)行財政改革アクションプランに基づき、全事業総点検などを行い持続可能な財政構造への転換を図ってきた。大型事業終了後も厳しい財政状況が見込まれるため、当プランの取り組みの成果を踏まえ、職員一人ひとりの費用対効果の意識を高め、一丸となって事務事業の見直しの徹底に努めたい。

古城公園の積極的なPR

問 新幹線の開業に合わせ、古城公園に全国から観光客に来てもらえるようPR活動すべきでは。

都市整備部長 古城公園では、食の祭典等の各種イベントを通じ、広く県内外にPRが行われたものと考えている。新幹線の開業に合わせ、ツイッターなどによる効果的な情報発信により、さらに認知度を高めていきたい。また、新高岡駅から古城公園までの多様なアクセス方法の周知や、分かりやすいサインの設置に努めていきたい。

委員会の動き

4 常任委員会では、委員が次の観点に立って当局の考えを聞き、付託議案の審査を行いました。

○総務文教常任委員会

◆市の施設を新たに建設する場合や改築時には太陽光発電システムを設置していくとの方針であったが、平成25年11月に供用開始されるスポーツ健康センターには、設置されるのか。

◆スポーツ健康センターに整備されるパークゴルフ場のコース及びホール数は。

○民生病院常任委員会

◆特別養護老人ホームの待機者解消のため、市内の特別養

護老人ホームの増床や地域密着型介護老人福祉施設の新設のための予算が計上されているが、市内の整備状況は。

◆特別養護老人ホーム等の増床・新設については、地元との調整も必要であるが、第5期介護保険事業計画期間中に整備を終えるための考えは。

◆子育て支援センターの設計費が計上されているが、市内には、子育て支援センターと同様の機能を有する施設はあるのか。

◆病院情報システムの更新のため、2カ年の継続費が計上されているが、その必要性は。また、県内病院の電子情報システムの導入状況は。

○経済消防常任委員会

◆TR@P事業費の事業内容は、具体的にはどのようなも

のなのか。

◆高岡御車山会館の現段階での配置人員数、入場料設定の検討状況及び年間維持管理費



五穀豊穡を願って つくりもんまつり

は。

◆高岡御車山会館の開館を契機とした周辺の中心商店街をはじめとした商業施設の活性化への考え方は。

◆高岡御車山会館の工事全般について、どのようにコスト削減に努めたのか。

○建設水道常任委員会

◆あいの風とやま鉄道株式会社が実施する並行在来線新駅の基本設計の予定額とその費用内訳は。

◆北陸新幹線対策事業費に計上されている駐車場整備費用については、立体駐車場と平面駐車場の両方の整備を含めたものか。

◆たかおかストリート整備計画策定事業におけるサイン整備や道路整備の具体的内容は。◆財産の取得として、除雪ト

ラックなど3件が上程されているが、新たな財産を取得することにより廃棄となる車両の処分方法は。

編集後記

今期最後の編集後記となりました。4年間の御愛読ありがとうございました。ごさいます。

今期の間には、議会基本条例や議員政治倫理条例が制定され、私たちは議員としての当然の心構えを強く意識し、市民の心を的確に感じ取る倫理と技量が一層求められています。議員の大きな職務でもある質問権と議決権を当局に對して、正しくしっかりと行使しながら、市民の皆さんの生活の向上を目指してまいります。

平成27年春の新高岡駅開業を控え本市のさらなる発展を目指して、議論してまいります。議会だよりはその一部を伝える大切な手段であり、来期も御愛読いただきますよう心からお願いいたします。

(水口記)

★編集委員

◎狩野、○曾田、吉田、中山、永森、石須、水口、二上
(◎委員長 ○副委員長)

臨時会の予定

任期満了に伴う高岡市議会議員選挙が10月27日に執行されたことに伴い、新しい高岡市議会の構成を決めるための臨時会が11月中旬に開催される予定です。

正式に決まり次第、公共施設への掲示や市議会のホームページ等で、お知らせします。

詳しい内容については、高岡市議会事務局(☎20-1531)までお問い合わせください。

市議会の傍聴

最近の定例会の傍聴者数

定例会	本議会	委員会
24年12月	22人	0人
25年 3月	60人	9人
25年 6月	32人	8人
25年 9月	79人	2人